

黒川小 だより

白川町立黒川小学校
校長 武市 進
児童数 62名
白川町黒川 2808-1
TEL 77-1101
2017年5月30日発行
校報 No. 3

子どもが主体的に動くとき

ゴールデンウィークが終わった次の週から、5・6年生の子どもたちは、朝活動の時間等を利用して、ドッジボールの練習を始めました。練習は、毎日欠かさず続けています。「発見ウォーク」のあった日の朝も、いつもと同じように練習をしました。子どもたちの様子を見てみると、誰かに言われて仕方がなく練習をしているのではなく、ほとんどの児童が、自分から進んで練習に参加しています。

ところで、白川町小学校ドッジボール大会は、6月2日(金)に大野台パークで、町内5つの小学校の高学年の児童が集まり行います。目的は、同じ町内の仲間として親交を深めることです。ドッジボールの試合は、学校対抗で行われます。大会は今年で3回目となり、過去2回は、何れも黒川小のチームが優勝しています。したがって、今年も黒川小の子どもたちの目標は「優勝」です。それが、毎日の主体的な練習につながっています。年々、他の小学校も優勝への意識が高まっており、簡単には優勝はできないと思いますが、それでも優勝候補の筆頭です。なお、保護者の皆様におかれましては、平日ではございますが、ご都合のつく方は応援をよろしくお願いいたします。

先日、5年生は、クオーレの里で宿泊研修を行いました。雨が降ったり止んだりするはつきりしない天気だったので、活動が十分にできるか心配でしたが、野外で行う活動の際は、雨が止むという巡り合わせで、予定していた活動はすべて実施することができました。(5年生の日頃の行いが良いからではないかと思いました。)

5年生の活動の様子を見てみると、どの活動においても、担任の指示よりも子ども達の声の方が大きく、しかも多く聞こえました。それだけ子ども達が、自分の行くことが分かっている、主体的に動いていたのだと思います。2日目の最後の活動は、漫俳づくりでした。その直前にあった班会議で、漫俳づくりの進行を担当する班は、自主的に進行係の練習を行っていました。担任の指示がなくても、こうしたことができるところが素晴らしいです。自分達の役割をしっかりと果たそうとする意識があるからこそ、自主的に動けるのだと思いました。

子どもたちが主体的に動けるときは、自分なりの目標があり、そのために何を行ったらよいか分かっているときなのです。

5年生宿泊研修 5月25日～26日



班で協力してますを捕まえました。



キャンプファイヤーの様子です。



とてもおいしいカレーができました。